

はじめに

臨床に携わり、旋風のごとく30年の年月が過ぎていきました。

残された現役の時間をどのように過ごすのかを考えていたとき、今回の書籍のお話をいただき、人生のターニングポイントを感じました。

これまで私は、臨床現場で活躍する歯科衛生士さんが抱える悩みに少しでも応えたいと考え、2002年に「みんとの会」という歯科衛生士だけの勉強会を発足させ、たくさんの出会いがありました。そして、2004年にセミナー事業を立ち上げ、歯科の立場から少しでもわが国の健康活動の役に立てればと思い、行動してきました。それらがすべて結実し、志をともにする多くの仲間たちに恵まれたおかげで、今回の書籍を刊行するに至りました。

時代の流れとともに、歯科衛生士が求められるスキルと知識をはじめとする情報も、目まぐるしく更新されています。そして、経験値が増えるほど、基本と基礎の大切さを感じます。私たち歯科衛生士は、「患者さんの口腔内をよくしたい、よくなってほしい」という想いが根底にあってこそ、知識も技術も実るものだと思います。予防という壮大な使命を担う歯科衛生士は、肉体労働者ではなく、知的労働者であるという誇りをもち、多くの患者さんとの大切な時間を共有してほしいと思います。

本書の企画は、できるだけ臨床現場で悩む歯科衛生士の声に耳を傾け、それに応えるような構成になっています。星の数ほどある悩みのうち、取り上げられたのはほんの一部ではありますが、本書が皆様の臨床の一助となれば、執筆者一同の喜びと誇りになると思います。

本書の出版にあたり、このような機会を与えていただきましたデンタルダイヤモンド社、多大なるご協力を賜りました各所歯科医院、メーカーの皆様へ、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

2016年12月

NDL 株式会社 代表取締役 **長谷ますみ**